

令和8年7月1日から2日にかけての梅雨前線による大雨について (京都府の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

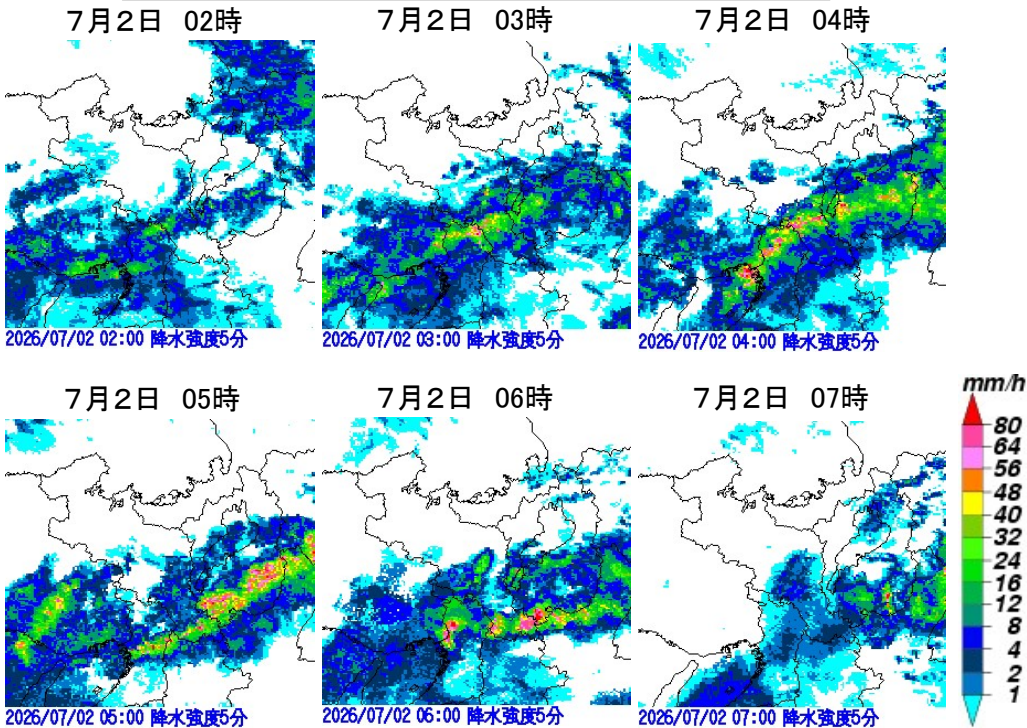
7月1日から2日にかけて西日本に停滞する前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、京都府では大気の状態が非常に不安定となり、南部では局地的に大雨となりました。この大雨により、長岡京では3時間に105.5ミリの雨を観測し、1976年の観測開始から、7月として観測史上2位の値を更新しました。

この大雨により、道路冠水による通行止め、崩土による通行規制がありました。

【被害状況:2日10時現在、京都府調べ】

レーダー画像、地上天気図

レーダー画像

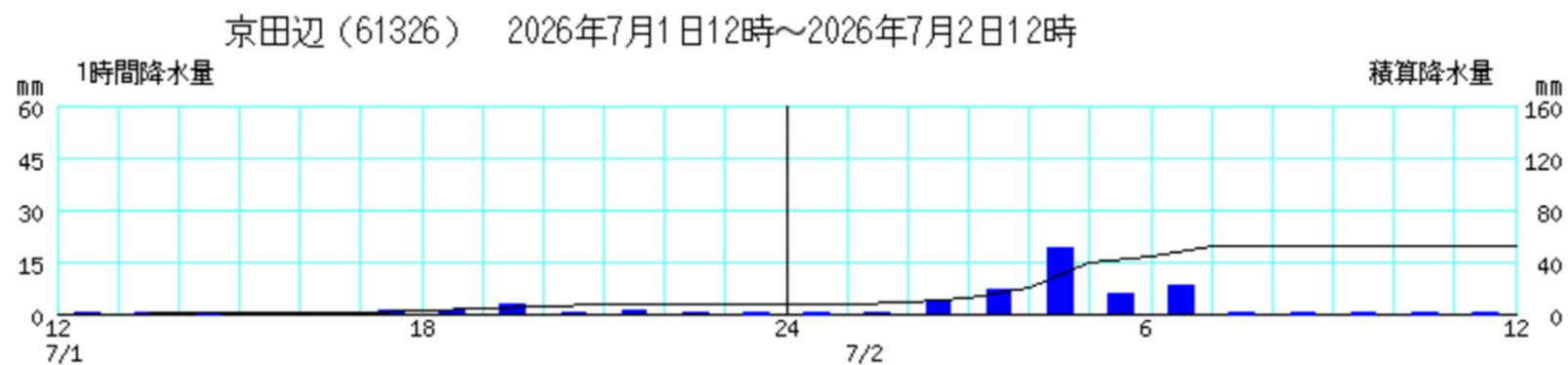
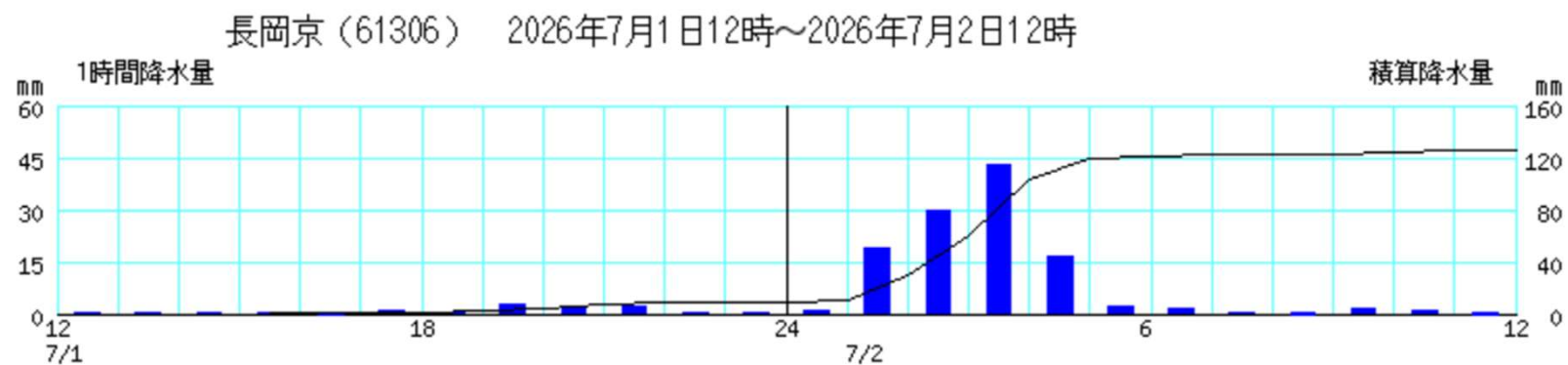
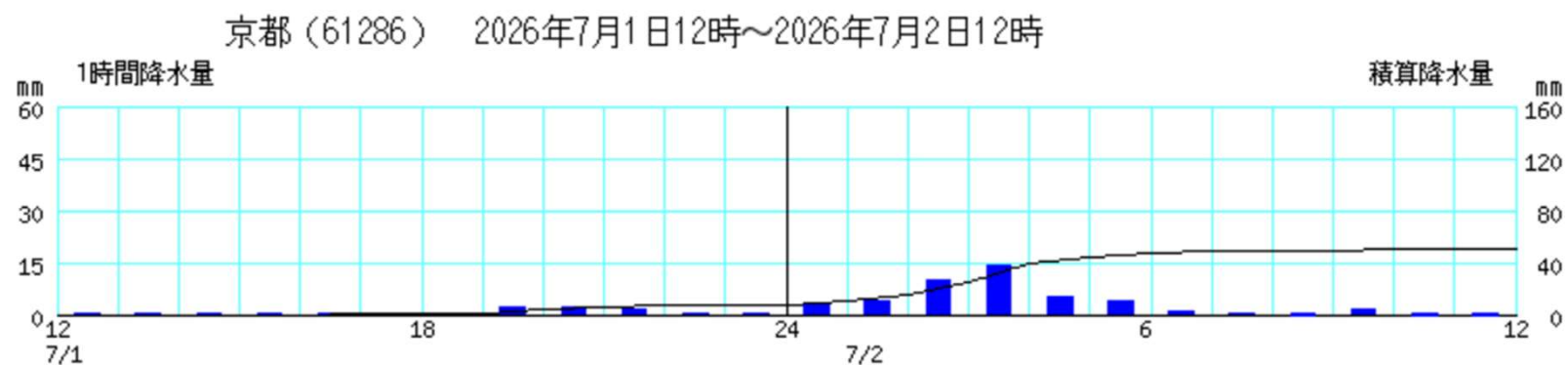


7月2日03時 地上天気図



アメダス時系列グラフ

○降水量(7月1日12時～2日12時)



※棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す。